



Arcserve UDP Cloud Hybrid 検証レポート

第1版

。 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1							
版数	発効日	変更箇所	変更内容				
1	2020/10/21		新規作成				

「Arcserve UDP Cloud Hybrid 検証レポート」

発行者:SB C&S株式会社

文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。 内容に関する、無断複製・譲渡・転載・変更・修正を禁じます。

目次	
1. はじめに	
1.1. 本書の目的	– 2 –
1.2. 本書の記述・定義範囲	– 2 –
1.3. 参考文献	– 3 –
2. 製品概要	4 -
2.1. Arcserve UDP Cloud Hybrid	4 -
3. 検証環境	– 5 –
3.1. 論理構成	– 5 –
3.2. 機器スペック	6 -
4. 設定手順	– 7 –
4.1. Arcserve UDP Cloud コンソールへの接続	– 7 –
5. Arcserve UDP Cloud Hybrid へのバックアップデータ保存設定	9 -
5.1. レプリケートプランの作成	9 -
5.2. バックアップデータのレプリケート設定	13 –
6. リストア	– 16 –
6.1. ファイル/フォルダレベルリストア(Windows)	16 -
6.2. ファイル/フォルダレベルリストア(Linux)	20 -
6.3. インスタント VM	23 –
6.4. 仮想スダンハイ	28 -
6.5. Arcserve UDP Cloud Hybrid からのリハースレノリケート	32 -
	- 38 -
7.1. Arcserve UDP Gloud Hybrid との VPN 接枕	- 30 - - 20
7.2. アンエアードリルバリ	- 49 - - 49 -
7.5. Wildrosoft Office 305 07 パウクチック	- 42 - - 12 -
0. 小心口丁	4J -

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は、Arcserve UDP Cloud Hybrid の概要説明、および設定手順を記載しています。

1.2. 本書の記述・定義範囲

使用されるすべてのハードウエアおよびソフトウエアの名前、ロゴは、それぞれのメーカーの商 標です。

本ドキュメントの著作権はSB C&S株式会社(以下弊社)に帰属します。本ドキュメントすべて、またはその一部を複製や再配布することは禁じられています。

本ドキュメントは、弊社にて把握、確認された内容を基に作成したものであり、お客さま環境や 製品機能の仕様や動作について担保・保証するものではありません。

本ドキュメントの利用に関し、トラブルが発生した場合、利用者または第三者に損害が生じた場 合であっても、本ドキュメントは利用者の自己責任のもと利用されているものであることを鑑み、弊 社は損害賠償その他一切の責任を負いません。

本書の内容に対するテクニカルサポートは提供しておりません。

本書の内容は作成日のドキュメント、機器環境に基づきます。ソフトウエアのアップデートなどにより、操作手順が本書記載の内容から変更されることがあります。

本書に記載した URL は予告無く変更されることがあります。

1.3. 参考文献

・Arcserve UDP Cloud Hybrid スタートアップガイド https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/09/uch-startup-guide1.pdf

・よくあるご質問と回答: Arcserve UDP Cloud Hybrid https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/08/uch-faq.pdf

•Arcserve UDP Cloud Hybrid 注意/制限事項 https://support.arcserve.com/s/article/2019082201?language=ja

2. 製品概要

2.1. Arcserve UDP Cloud Hybrid

Arcserve UDP Cloud Hybrid(以下 Cloud Hybrid)は Arcserve 社が提供するクラウドサービスで、 オンプレミス環境にある Arcserve UDP からバックアップデータを Arcserve が運営するクラウドへ レプリケート(転送)することで、自然災害等のサイト障害からデータを守り、システムを継続利用 することを実現します。

また、課金体系に関しても容量毎のサブスクリプションで提供されており、従量課金型で多く寄せられる実際のコスト感がわかりづらいといった問題も発生いたしません。

利用方法として、大きく『BaaS』『DRaaS』の2つのシナリオがあり、遠隔地にデータ保管ができていればいい、または有事の際は遠隔地でサービス継続が必要といったニーズにも対応することが可能となっております。

※DRaaS サービス利用には別途コンピュートリソースの契約が必要となります。



DRaaS: クラウドで業務継続



3. 検証環境

3.1. 論理構成

今回の検証におけるシステム環境は以下となります。



3.2. 機器スペック

Arcserve UDP Appliance 8200

製品名	Arcserve UDP Appliance 8200
SW バージョン	バージョン 7.0.4455 update2 ビルド 634
CPU	1 × 8core
メモリ	32GB
筐体内ディスク	12TB(RAID5)
NIC	1GbE × 2



Arcserve UDP Appliance 8200

Windows クライアント端末

OS バージョン	Windows 10 Enterprise
CPU	1 × 2core
メモリ	8GB
ストレージ	ハードディスク1:60GB
	ハードディスク 2:400GB

Linux クライアント端末

OS バージョン	Cent OS Linux release 7.6.1810
CPU	1 × 2core
メモリ	8GB
ストレージ	ハードディスク1:60GB
	ハードディスク 2:400GB

4. 設定手順

4.1. Arcserve UDP Cloud コンソールへの接続

 Arcserve UDP Cloud 購入後、Arcserve から送信される『Arcserve UDP Cloud Hybrid サ ービス接続情報のお知らせ』という件名のメールに記載されている情報を確認します。 この情報をもとに Arcserve UDP Cloud コンソールへの接続設定を行います。

この度は弊社、Arcserve UDP Cloud Hybird サービスをご購入頂き誠にありがとうございます。 サービスへの接続情報につきまして以下にお知らせを致します。
以下情報で Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールにアクセスし、ご利用を開始してください。
Order : 会社名 : ユーザ名 : パスワード : Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール URL : <u>https://</u>
Arcserve® UDP Cloud Hybrid スタートアップ ガイド は <u>こちら</u> をクリックしてください Arcserve® UDP Cloud Hybrid オンライン ヘルプ は <u>こちら</u> をクリックしてください

2. 『Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール URL』に記載の URL をクリックし、『ユーザ名』 『パスワード』を入力し、『ログイン』をクリックします。

arcserve	
uicseive	UNIFIED DATA PROTECTION
ユーザ名	
パスワード	
	ログイン
Update 2 년/나 034	
現在の Windows 載 します。	2証情報 (IWA) を使用してログイン
06.71	

3. 『リソース』タブから、『デスティネーション』→『復旧ポイントサーバ』と選択することで、復旧 ポイントサーバ(RPS)とデータストアが作成されていることを確認します。

arcserve" INFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード <mark>リソース</mark> ジョブ レポート ログ 設定							
4	。 デ	スティ	ネーション: 復旧ポイントサー/	۲			
a /-F	7	アクション 🗸					
すべてのノード ゴミンのセインノード	_	2744 TE, 67 751.34					
Linux ノード		-		~ ~ ~	57730		
▷ プラン グループ	4	•	chj-softbankcu1.arcserve1.com				
▲ プラン			arcstore01	۲	<u>3</u>		
<u>すべてのブラン</u> ・ デフティネーション・							
▲ ノスノイホーンヨン 復旧ポイント サーバ							
Arcserve Backup サーバ							

 『リソース』タブから、『すべてのプラン』を選択することで3つのレプリケートプランが作成 されていることを確認できます。こちらはデフォルトで用意されているプランとなり、あらか じめ共有設定が施されており、オンプレミス環境のRPSからArcserve UDP Cloud へのレ プリケートに利用することができます。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード リソース シ	ジョブ レァ	ポート ログ 設定					
	≪ プラン:	すべてのプラン					
▲ ノード すべてのノード	アウシ	シ - プランの追加					
ブランのないノード		プラン名		保調	護ノード		ステータス
▶ Hyper-V グループ			合計	0	0	8	
Linux ノート ▷ プラン グループ		レプリケート (31D 1W 1M 1C)	0	0	0	0	◎変更
▶ Linux バックアップ サーバ グループ		<u>レプリケート (5D 1W 1M 1C)</u>	2	2	0	0	《作成済み
ブラン すべてのブラン		レプリケート (7D 5W 12M 31C)	0	0	0	0	✓ 作成済み
↓ デ <mark>スティネーション</mark>							
1夏日ボイント サーハ Arcserve Backup サーバ							
共有フォルダ							

5. Arcserve UDP Cloud Hybrid へのバックアップデータ保存設定

5.1. レプリケートプランの作成

先の手順にて確認したレプリケートプランと異なるレプリケートプラン新規作成手順を解説いたしま す。

1. Arcserve UDP Cloud コンソールにログインし、『リソース』タブから『プラン』→『すべてのプラン』を選択し、『プランの追加』を選択します。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定							
	≪ プラン:	すべてのプラン					
▲ ノード すべてのノード	アクシ	シ - プランの追加					
プランのないノード ▷ Hyper-V グループ		752名	合計	G¥. ⊘	渡ノード ●	0	ステータス
▷ プラン グループ		<u>レプリケート (31D_1W_1M_1C)</u>	0	0	0	0	🕏 変更
▶ Linux バックアップ サーバ グループ		<u>レプリケート (5D_1W_1M_1C)</u>	2	2	0	0	🥝 作成済み
▲ ノラノ すべてのプラン		レプリケート (7D 5W 12M 31C)	0	0	0	0	🕑 作成済み
 <i>デスティネーション</i> (知日ポイント サーバ Arcserve Backup サーバ 共有フォルダ backup オウット 							

 『タスクの追加』を選択し、タスクの種類のプルダウンメニューより、『リモートで管理されている RPS へのレプリケート』を選択します。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定							
プランの追加	New_Replicate	e_P Ian	□このプランを一時停止				
<u> </u>	タスクの種類 	 - バックアップ: Office 365 Exchange Online	•				
 タスクの追加 		バックアップ: Office 365 OneDrive バックアップ: Office 365 SharePoint Online バックアップ: UNC または NFS パス上のファイル バックアップ: エーヴェントベース Linux バックアップ: エーヴェントベース Windows バックアップ: ホストベース エーヴェントレス リモートで管理されている RPS からレプリケート					

3. 『デスティネーション』タブを選択肢し、データストアを選択します。

arcserve® UNIFIED DATA PROTECTION								
ダッシュボード リソース ジョ	ダッシュボード <mark>リソース</mark> ジョブ レポート ログ 設定							
プランの追加	New_Replicate_Plan	□このプランを一時停止						
タスク1: リモートで管理されている RPS からレプリケート	タスクの種類 リモートで管理されてい	35 RPS からレプリケート						
 タスクの追加 	ソース デスティネーション	ン スケジュール 拡張						
製品のインストール	復旧ポイント サーバ	chj-sbcscorp1.arcserve1.com 👻						
	 データストア サーバは NAT ルータの後方にあります: ホスト名/IP アドレス: ボート: 	arcstore01						

4. 『スケジュール』タブを選択し、任意のスケジュールを設定した後、『保存』を選択し設定を完了 します。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTI	DN		6) J=1== (0) chandren · ∧ NJ · .
ダッシュボード リソース ジ	ヨブ レポート ログ き	定		
プランの追加	New_Replicate_Plan	□ このプランを一日	行手上	<u>第27</u> 年代七後 へんか
タスク1: リモートで管理されている RPS からレプリケート	タスクの種類 リモートで留	埋されている RPS からレプリケート 👻		
 タスカの追加 	ソース デスティ	ニーション スケジュール 拡張		
製品のインストール	④追加 NUR9 9-67 近明	В Я X	* * ± ±	9M
	御日ポイントの保存	日次パックアップ	7	
		運はバックアップ	5	
		月次パックアップ	12	
		カスタムノ手掛かバックアップ	31	

5. 『リソース』タブから、『プラン』→『すべてのプラン』を選択し、先程作成したレプリケートプラン が追加されていることを確認します。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION								
ダッシュボード リソース	ジョブ レィ	ポート ログ 設定						
	≪ プラン	: すべてのプラン						
⊿ ノード すべてのノード	アウシ	シ - プランの追加						
プランのないノード		プラン名	保護ノード				ステータス	
▶ Hyper-V グループ			合計	0	0	0		
Linux ノート ▷ プラン グループ		New Replicate Plan	0	0	0	0	🕑 作成済み	
▶ Linux バックアップ サーバ グループ		レプリケート (31D 1W 1M 1C)	0	0	0	0	❷ 変更	
▲ ノラノ すべてのプラン		レプリケート (5D 1W 1M 10)	2	2	0	0	🕑 作成済み	
▲ デスティネーション 復日ポイント サーバ Arcserve Backup サーバ 共有フォルダ		レプリケート (7D 5W 12M 31C)	0	0	0	0	✓ 作成済み	

作成したプランはデフォルトで作成されているプランと異なり、共有設定が施されておりません。オンプレミス環境の RPS から Arcserve UDP Cloud へのレプリケートに利用する為に作成したプランを共有する必要があります。

『設定』タブより、『共有プラン』を選択し、編集をクリックします。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION		0 X3
ダッシュボード リソース ジョ	ブ レポート ログ 設定		
 SRM 環境設定 ノードディスカバリ設定 		J2799	752
電子メールとアラートの環境設定 共有ブラン	J douduser		レプリケート (31D_1W_1M_1C) レプリケート (7D_5W_12M_31C) レプリケート (5D_1W_1M_1C)

『使用可能なプラン』より作成したプランにチェックを入れ、画面中段の矢印マークを選択します。作成したプランが画面右側の『選択されたプラン』に移行したことを確認し、『OK』をクリックします。

ユーザへのプランの割り当て	o ×
ユーザアカウント clouduser 👻 読明	
使用可能なプラン	選択されたプラン
プラン名	75>名
New_Replicate_Plan	□ レプリケート (31D_1W_1M_1C)
□ レプリケート (31D_1W_1M_1C)	□ レプリケート (7D_5W_12M_31C)
□ レプリケート (7D_5W_12M_31C)	□ レプリケート (5D_1W_1M_1C)
□ レプリケート (5D_1W_1M_1C)	New_Replicate_Plan
	»
	>
	<
	×
4 - 4 ページ 1 - 1 ト ト 2 1 - 4/4 の表示	
	OK キャンセル

8. 『設定』タブより、『共有プラン』を選択し、画面右に表示される『プラン』に作成したプランが追加されていることを確認します。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION		0 Xy
ダッシュボード リソース ジョ	ョブ レポート ログ 設定		
4 SRM 環境設定 ノードディスカバリ設定	※ 通知 編集 削除 ② ユーザアカウント	12199	750
電子メールとアラートの環境設定 共有プラン	☑ clouduser		レプリケート (5D_1W_1M_1C) New Replicate Fan レプリケート (3D_1W_1M_1C) レプリケート (7D_5W_12M_31C)

以上で、レプリケートプランの作成は完了となります。

5.2. バックアップデータのレプリケート設定

本説では、プライマリサイトの Arvserve UDP Appliance 保存されたバックアップデータを、 Arcserve UDP Cloud ヘレプリケートする手順を解説いたします。



1. プライマリサイトの Arcserve UDP Appliance のコンソールにログインし、『リソース』タブから、『プラン』→『すべてのプラン』を選択し、レプリケート対象のプランをクリックします。

arcserve	UNIFIED	DATA PROTECTION						
ダッシュボード リソース ジ	ヨブ レオ	ペート ログ 設定	ハイアペイラビ	リティ				
	≪ プラン:	すべてのプラン						
⊿ ノード すべてのノード	アクション・ プランの追加							
プランのないノード		プラン名	保護ノード				ステータス	
Linux ノード			合計	0	0	0		
▶ フラン クルーフ ▲ Linux バックアップ サーバ グループ		Linux Backup	1	0	0	1	🕏 変更: 成功 (1)	
linux-backupsvr 4 プラン		<u>Win Backup</u>	1	1	0	0	❷変更: 成功 (1)	
すべてのプラン								

 『タスクの追加』を選択し、プルダウンメニューより『リモートで管理されている RPS へのレ プリケート』を選択します。

arcserve 🛚	NIFIED DATA PROTECTION	
ダッシュボード リソース ジョブ	レポート ログ 設定 ハイアベイ	イラビリティ
プランの変更	Wn_Backup	□ このブランを一時停止
タスク1: パックアップ: エージェント 🛛 📀 タ ベース Windows	スクの種類 Arcserve Cloud へのレプリケート	▼
タスカ2	アシュアードリカバリ テスト テーブへのコピー ファイル アーカイブ	
● タスクの追加	ファイルコピー リモートで管理されている RPS へのレプリ レプリケート 仮想スタンバイ	ウート
製品のインストール	復日ポイントのコピー	

『デスティネーション』タブを選択し、リモートコンソールウィンドウ横の『追加』をクリックします。別途立ち上がる『リモートコンソール追加』ウィンドウに Arcserve Cloud Hybrid 情報を入力し、『OK』を選択します。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION		◇ 新は、更新新明できます。 □
ダッシュボード リソース ジ	ョブ レポート ログ 設定	ハイ アベイラビリティ	
プランの変更	Wn_Backup	□このブランを-	一時停止
タスカ1: パックアップ: エージェント ・ ペース Windows	タスクの種類 リモートで管理されてい		
タスク2: リモートで管理されている RPS へのレプリケート	ソース <mark>デスティネーショ</mark>	リモート コンソール ユーザ名	administrator
 タスカの追加 	リモート コンソール ユーザ名	パスワード	•••••
製品のインストール	パスワード	ボート プロトコル	8015 ○ http ● https
	ポート プロトコル プロキシの有効化:	□ ブロキシ サーバを使用してま	度続する プロキシ設定
	70499-15 #-k	へいブ	<u> </u>

 『リモートコンソール追加』ウィンドウに Arcserve Cloud Hybrid 情報を入力後、『接続』をク リックし、Arcserve Cloud Hybrid との接続を確立します。 画面を下にスクロールし、『プラン』右のプルダウンメニューから適用するプランを選択し、 保存をクリックします。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION		新は運輸給利用できます。 1 ・ ジャセージ(1) ・	administrator * ヘルプ *
ダッシュボード リソース ジョ	ブ レポート ログ 設定	ハイ アベイラビリティ		
プランの変更	Win_Backup	□このブランを一時停止		保存 キャンセル ヘルプ
タスカ1: パックアップ: エージェント 📀	ユーザ名	clouduser		^
. A millione	パスワード	******		
タスク2・リモートで管理されている RPS へのレプリケート	ボート	8015		
a habeith	プロトコル プロキシの有効化:	O HTTP ● HTTPS		
• 3,270,7E/II				
製品のインストール				
		接続		
	プラン	レプリケート (31D_1W_IM_IC)		
	レプリケーション ジョブが失敗したとき:			
	再試行開始	10 分後 (1 ~ 60)		
	再試行	3		,
Copyright @ 2014-2019, Arcserve (USA), LLC and its affili	iates and subsidiaries.All rights reserved.			いて+03:00 (日本機嫌時)

以上で Arcserve UDP Cloud へのレプリケート設定は完了となります。 これにより、次回バックアップ完了後、Arcserve UDP Cloud ヘレプリケートが行われます。 初回のレプリケートはフルバックアップ相当量のデータ転送が行われるのでご注意ください。

6. リストア

Arcserve UDP Cloud Hybrid ヘレプリケートしたバックアップデータから様々なリストアが可能となりますが、以下の図のように、バックアップ方式、対象の OS によって、利用できる機能に違いがございます。

Linux マシンに関しては、別途コンピュートリソースを契約することで、Arcserve UDP Cloud Hybrid 環境上にファイル/フォルダ単位のダウンロード機能を利用することができます。

	Wind	dows	Lin	nux	
バックアップ方式	エージェント	エージェントレス	エージェント	エージェントレス	
プライマリサイトへの復旧	ファイル リバースレ	レベル ・プリケート	リバースレプリケート		
インスタントVM	0	0	0	〇 ※Hyper-V環境のみ	
仮想スタンバイ	0	0	Х	Х	

以下にて、リストアシナリオごとの操作手順をご説明いたします。

6.1. ファイル/フォルダレベルリストア(Windows)

1. Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールから、『リソース』タブより、『デスティネーション』を選択 し、データストアを選択した後、『復旧ポイントの参照』をクリックします。

arcserve [®] Unified data protection							
ダッシュボード リソース ジョン	ブ レポ	ート ログ 設定					
**	デスティ	ネーション: 復旧ポイントサー/	7				
▲ ノード	アクショ	2.					
すべてのノード プランのないノード		名前	ステータス	プラン数	保存をれたデータ	デデュブリケーション	圧縮
Linux ノード ▷ プラン グループ	- 8	chj-softbankcu1.arcserve1.com					
▲ プラン すべてのプラン		<u>arcstore</u> 復旧ポイントの参照		<u>3</u>	657.62 GB	42%	23%
▲ デスティネーション 復日ポイント サーバ		RPS ジャンプスター	· -				
Arcserve Backup サーバ							
共有フォルダ							
リチート ゴンノール							
Arcserve クラウド							
▲ インフラストラクチャ							
ストレージ アレイ							
インスタント VM							
Ψ1ト CLA ≓=== (#							
5LA 7U771 <i>I</i> L							

2. 『サマリ』画面より、リストア対象のノードにカーソルを合わせ、右クリックし、リストアをクリック します。

arcserve with	TA PROTECTION					
ダッシュボード <mark>リソース</mark> ジョブ レポー	ト ログ 設定					
<ローカル サイト> デスティネーション: chj-softbankcu1.arcserve1.com > arcstore01						
復旧ポイント						
 ליד						
アクション 🗸						
ノード名	最新の復旧ポイント	復旧ポイントの数				
■ プラン:レプリケート(5D_1W_1M_1C)		12				
<u>192.168.248.131</u>	10/19/2020 9:59:06 午後	6				
JPLPTD-044	10/19/2020 10:00:16 午後	6				
ウブレッシュ リストア インスタント VM の作氏成 育期除 今すぐマージ						

別ウィンドウが立ち上がるので、リストア方式を選択します。
 ※本件では『復旧ポイントの参照』よりリストアを実行します。

ሀストア		×
リストア方式を	を選択してください。	
	復旧ポイントの参照 毎田ポイントを参照して選択します。次に、リストアするデータを選択します。ファイル、フォル ダまたはアプリケーションを回復するには、このオプションを使用します。	
1	ファイル コピーの参照 デスティネーション(ディスクルクラウド)を参照します。次に、 リストアするデータを選択しま す。 ファイルノフォルダを回復するには、 このオプションを使用します。	
9	リストアするファイル/フォルダの検索 バックアップおよびファイル コピーからリストア対象ファイル/フォルダを検索します	
	VMの復旧 リストア対象として仮想マシン全体を選択します	
	Microsoft Exchange データのリストア 予定、連絡先、電子メール メッセージ、タスクなどの Exchange データをリストアします。 Exchange データのリストア手順については、Arcserve ナレッジ センター を参照してください。	
	Active Directory のリストア 毎日ポイントを参照および選択してから、リストア対象データを選択します。Active Directory オ プジェクトおよび雇性を回復するには、このオプションを使用します。	
	前に戻る キャンセル へい	ぱ

4. 復旧したいドライブを選択します。

ሀストア							×
── 復旧ポイントの参照 バックアップ場所							•
復旧ポイントサーバ:		chj-softbankc	u1.arcserve	e1.com		変更	
データストア:		arcstore01					
ノード:		JPLPTD-044					
復旧ポイントの日付							
 < 10月 2020 ▼ ▶ 日月火水木金土 	AR	時刻	種類	バックアップの 種類	名前		
27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	G	10:00:16 午 後	毎日	増分			L
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24							
25 26 27 28 29 30 31							
1 2 3 4 5 6 7							
今日	名前			更新日時		サイズ	
指定期間	Þ 🗖 🥽) C:				40.93 GB	
12:00 午前 - 6:00 午前	Þ 🗖 🚍) D:				301.70 GB	
6:00 午前 - 12:00 午後	Þ 🗖 🥽) システムで予	約済み			444.56 MB	
12:00 午後 - 6:00 午後							
6:00 午後 - 12:00 午前 (1)							
							-
		前に	戻る	次へ	キャンセル	ヘルプ	

5. 別ウィンドウにてパスワード入力を求められますので、バックアップジョブ作成時に指定したセッションパスワードを入力し『OK』を選択します。

Arcserve UDF	[・] エージェント	×
選択された復旧オ のため、適切な暗 ます。	ペイントは暗号化されている; 時化パスワードまたはセッ:	か、パスワードで保護されています。 そ▲ ション パスワードを指定する必要があ!
時刻 🚽	名前	パスワード
10/19/2020 10:0 後	00:16 午	
		-
	ОК	キャンセル

6. Windows エージェントのリストア画面が表示されるので、右側の矢印アイコンをクリックすることでダウンロードを実行されます。



以上で Windows マシンのファイル/フォルダレベルリストアは完了となります。

6.2. ファイル/フォルダレベルリストア(Linux)

1. Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールから、『リソース』タブより、『Linux ノード』を選択し、リ ストア対象ノードを右クリックし、『リストア』を選択します。

arcserve	UNIFIED	DATA PROTECTION		
ダッシュボード リソース シ	ねブ レボ	ペート ログ 設定		
	≪ ノード:	Linux ノード		
⊿ ノード すべてのノード	アクシ	ョン 🗸 🏢 ノードの追加		
プランのないノード		ステータス ノード名	VM 名	プラン
 > Hyper-V グループ Linux ノード > プラン グループ >> レゴン グループ >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>		• 192.168.248.131	更新 削除 エクスポート	r~F (5D_1W_1M_1O)
▲ 仮想スタンバイ すべてのノード 要アクション スないドインM また中			ブランの変更 ハイパーバイザの指定 バックアップ パスワード(D設定
メランパイ VM 実行中 ソース実行中 ソースおよび VM 実行中			リストア インスタント VM の作詞	\$
すべてのプラン				

別ウィンドウが立ち上がり、リストアタイプの選択画面が表示されるので、『Restore File』、もしくは『Mount Recovery Point』のいずれかを選択し、『OK』をクリックします。

※本手順では『Restore File』を選択します。

rcserve mil	D DATA PROTECTION			N	lanaged by:	<u>chj-sbcscorp1.a</u>	rcserve1.com Log Out Help
Backup Server	Node	Wizards	Job	Backup S	itorage	Tools	
Image: Add Image: Add model Image: Add model Image: Add model Image: Add model Image: Add model	dd Delete	Backup - Restore	Run Now 🔀 Modif		Modify Delete	efresh Filter	2
Backup Servers	Overview Nodes	Job Status	Job History Activity Log	Backup Storage			
💻 chj-sbcscorp1-lbs.ai	Server Information	Resource Usage					
	OS Version: Debian GNU/Linux 9.11 Up Time: 3 day(s) 13 hour(s) 42 minute(s) Running Jobs: 0 Restore Utility: Installed			CPU Usage: 33% Physical Memory (Free/Total): 6.66 GB/7.78 GB (85%) Swap Size (Free/Total): 14.95 GB/14.95 GB (100%) Installation Volume Size (Free/Total): 167.12 GB/181.15 GB (92%)			3/7.78 GB (85%) 58/14.95 GB (100%) GB/181.15 GB (92%)
	Backup Storage Backup Destination chj-sbcscorp1.arcserv	el.com:arcst	a File Recovery Point	×	Total Size N/A		Free Size N/A
	Node Summary	L		Job History S	ummary		
	Total Nodes	No data is availabl Protected Nodes 0	le. Last Backup Unsuccessful 0	Total: Complete Failed: Incomplet Canceled: Show:	0 d: 0 0 te: 0 towr : 0 <u>All</u>	panel requires Iload and instal	No data is available. Adobe Flash Player 10 or later! I Adobe Flash Player now.

3. Backup Server の選択画面で『Next>』を選択します。

Restore Wizard - File Rest	ore				×
品	Specifies the back	up server where you want to ru	n the recovery jobs.		
Backun Server	Backup Server	chj-sbcscorp1-lbs.arcserve1.c	om 👻		
	Information The backup ser recovery points	ver requires access to both the targ are stored. Verify if the necessary	et machine and the network stora network connection is available.	age where the	
Recovery Points					
Target Machine					
Advanced					
Summary					
			Next>	Cancel	Help

4. 画面左上部の『Connect』をクリックし、表示された復旧ポイント一覧から対象の復旧ポイントを 選択し、バックアップジョブ作成時に設定したセッションパスワードを入力した後、『Add』を選択 します。

000	Session Location	RPS	 chj-sbcscorp1.ar 	cserve1.com:arc	store01 🗙 🔸 🕼	bbA 🔘	🥖 Connect
ackup Server	Machine	192.168.248.13	131		~		
	Date filter	Start 7/2/20	End	7/16/20			🕮 Search
	Tim	e	Туре	Name	Encryption	Session Pass	word
ecovery Points	🚱 🍽 🕕 7/1	6/2020 9:59:15 PM	BACKUP_INCREMENT	AL \$00000003	2 AES256		
à	🚱 🍽 🚺 7/1	5/2020 9:59:17 PM	BACKUP_INCREMENT	AL S00000003	1 AES256		
	🛐 🎮 🕕 7/1	4/2020 9:59:19 PM	BACKUP_INCREMENT	AL \$00000003	0 AES256		1
irget Machine	() () () () () () () () () ()	3/2020 9:59:22 PM	BACKUP INCREMENT	AL \$00000002	9 AES256		•
Alter .	Files/Folders to b	e restored				O Add	💢 Remove
12633	File/Folder Name	(Date Modified	Size	
Advanced							

5. 選択した復旧ポイントから、ダウンロードするファイル/フォルダを選択し、ダウンロードをする ことでダウンロードが実行されます。

Browse-192.168.248.131-50000	000032			×
Current Location /home		Action -		👫 Search
• 💋 /	File/Folder Name		Date Modified	Size
	Trash-0		2/26/2020 5:47:42 AM	Ł
	🗖 🧰 root		2/26/2020 5:48:43 AM	±
	user1		6/16/2020 4:59:10 AM	ž.
	4			
	🔢 🔄 Page 1 of 1 🕨 🕅 🥭			Displaying 1 - 3 of 3
Files/Folders to be restored			📩 Do	ownload 🔀 Remove
File/Folder Name			Date Modified	Size
			ОК	Cancel

以上で Linux マシンのファイル/フォルダレベルリストアは完了となります。

6.3. インスタント VM

Arcserve UDP Cloud Hybrid では、別途コンピュートリソースを契約することで、インスタント VM/ 仮想スタンバイ機能を利用し、Arcserve UDP Cloud Hybrid 環境上に代替仮想マシンを起動することが可能となります。

【インスタント VM】



以下の手順で、インスタント VM、仮想スタンバイの利用手順をご説明させていただきます。

Arcserve UDP Appliance 8200

Backup Source

Linuxマシン

Backup Source

Windowsマシン

1. Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールから、『リソース』タブより、『ノード』→『すべてのノード』 を選択し、対象のノードを右クリック、『インスタント VM の作成』をクリックします。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION					
ダッシュボード リソース ジョ	ョブ レポート ログ 設定				
4	« ノード:すべてのノード				
▲ ノード すべてのノード	アクション - ノードの追加	i			
プランのないノード ▶ Hyper-V グループ	マ ステータス ノード名 マ マ	VM &			
Linux ノード > ブラン グループ > Linux バックアップ サーバ グループ 4 仮想スタンバイ すべてのノード 更可ないつい。		更新 削除 エクスポート プランの変更 ハイパーバイザの指定			
& パンション スタンバイ VM 実行中 ソース実行中 ソースおよび VM 実行中		今すぐレブリケート 仮想スタンバイ ▶ スタンバイ VM スタンバイ VM			
 オベてのプラン オデスティネーション 復日ポイントサーバ Arcserve Backup サーバ 		バックアップ パスワードの設定 リストア インスタント VM の作成			

2. 別ウィンドウが立ち上がるので、復旧ポイントサーバ、データストアをプルダウンから選択し、 インスタント VM を実行する復旧ポイントを選択、『次へ』をクリックします。

复日オ データ	ポイントサーバ コストア	chj-sbcs arcstore	corplarcservel.com	¥		
/M &	開始する復旧ポイントを 日 村	き選択します。 セッション名	aș și	アシュアード リカパリ	パックアップの種類	パックアップ スケジュール
4	最新 2020/07/21	S000000039	2020/07/21 15:02:11	0	フル	力スタム
Þ	今日			<u> </u>		10112148
Þ	日作日					
Þ	過去7日間					
Þ	過去 30 日間					
Þ	30日経過					

3. バックアップジョブ作成時に設定したパスワードを入力し、『OK』をクリックします。

インスタント VM (JPLPTD	0-044)の作成	
復旧ポイントを選択(ステップ	1 / 4)	
このノードによって使用されている場所か	らぼ旧ホイントを参照します。	
ロケーション かくプ		
(黒日ボイントサーバ	chi-sboscorp l'arcserve Loom	
7-97.HP	arcstore01 -	
VM を開始的る復旧ポイントを選択 日村	復旧ポイント アクセス ×	パックアップ スケジュール
▲ 最新 2629/07/21	⑦ アクセスしようとしている(取日ボインドは暗号化されています。	
> 98 848		
: 過去7日間 日本100円	OK キャンセル	
ON CALL		
N.110		

4. ハイパーバイザーの種類を、プルダウンより『Microsoft Hyper-V』を選択し、『追加』をクリックします。

別ウィンドウが立ち上がるので、Arcserve から送信される『Arcserve UDP Cloud Hybrid サー ビス接続情報のお知らせ』という件名のメールに記載されている情報を入力し、『OK』を選択 後、前の画面で『次へ』をクリックします。

※Hyper-V ホスト名/IP アドレスには Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール URL の 『https:// 』から『:8015/』の間の文字列を入力します。

インスタント VM (JPLPTD-	-044) の作成		
VM の場所 (ステップ 2 / 4) インスタント VM をホストする VMHvare VSpix / バイーバイザの建築 Hyper-V Server/052.9	we または Microsoft Hyper-V 上の場所を指定します。 Microsoft Hyper-V マ マ 5日70 受	VM デスティネーションの指定 Hyper-V サーバはたはクラスタの情報を入力 Hyper-V ホスト名/IP アドレス ユーザ名	₹5
名前 名前	89	パスワード クラスタの場合、クラスタ管理権限を	持つドメインアカウントが必要です。
		Vin 設定者	ок #+>Ди
へルプ	前	に戻る 次へ キャンセル	

5. 画面に表示される復旧サーバ要件を満たしていることを確認し、『次へ』をクリックします。

er-V サーバ chj-sbcscorp1.arcserve1.com が自動	肺的に復旧サーバとして選択されました。	复旧サーバが以下の前提条件を満たし	,ていることを確認してください。
🕖 ×64 Windows 2008 R2 以上のバージョン。			
⑦ エージェントがインストールされ、現在のコンソールに。	とって管理される必要があります。		
19		前/F更Z	New York

インスタント VM (JPI	LPTD-044)の作成		
仮想マシン設定(ステッ	J 4 / 4)	VM ファイル フォルダ	>
仮想マシンのハードウェアおよびゲン	スト オペレーティング システム環境を設定します。		
VM 43	UDPEVM_JPLPTD-044	フォルダの選択	1
11月11月		⊳⊜C¥	
VM ファイル フォルダ 👩	198日サーバ上 (chj-sbcscorplarcservelcom)	▷ 🚍 SSD (E¥)	
		₩32 → HDD (F¥)	
CPU BR	2 🛩	▷ 🛄 arcstore01	
メモリ サイズ	512 MB e 32766 MB 4096 MB (使用可能 11442 MB)	D 🗋 udpvm	
ネットワーク アダプタ	 アダプタの追 	加 図 DNS の更新	
0 y-2 マッンボアクティブなり	金金、原語マンシリースマンメ時間はかけーン: 種語しないでだろい。ホスト名が戦会しているため、これにお予報性の問題	御海生すら可能性がありま	
* IX48		フォルダ名	
☑ VM ファイル フォルタ容量の WM ファイル フォルタ容量の	のディング型を容量のモニタ 容量がなの値を下回った場合にディング型を容量の不足を警告 3 %	F.¥VMStorage	
□ホスト名の変更			OK キャンセル

7. 別ウィンドウが立ち上がるので、『今すぐ起動』、『後で起動』のいずれかを選択します。



以上でインスタント VM の設定は完了となります。

6.4. 仮想スタンバイ

1. Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールから、『リソース』タブより、『プラン』→『すべてのプラン』を選択し、対象のプランを選択します。

arcserve	UNIFIED	DATA PROTECTION						
ダッシュボード <mark>リソース</mark> う	ジョブ レオ	ペート ログ 設定						
	≪ プラン:	すべてのプラン						
▲ ノード すべてのノード	アウション・ プランの追加							
ブランのないノード	📄 プラン名		保護ノード				ステータス	
▶ Hyper-V グループ			合計	0	0	8		
レ プラン グループ		<u>New Replicate Plan</u>	0	0	0	0	●作成済み	
▷ Linux バックアップ サーバ グループ		レプリケート (31D 1W 1M 1C)	0	0	0	0	⊘ 変更	
▲ プラン すべてのプラン		<u>レプリケート (5D_1W_1M_1C)</u>	2	2	0	0	❷ 作成済み	
▲ デスティネーション 復日ポイント サーバ		<u>レプリケート (7D 5W 12M 31C)</u>	0	0	0	0	●作成済み	

2. 『タスクの追加』を選択し、タスクの種類のプルダウンメニューから『仮想スタンバイ』を選択し ます。

arcserve	UNIFIED DATA	PROTECTION	
ダッシュボード リソース ジョ	ブ レポート	ログ 設定	
プランの変更	レプリケート (50	_1W_1M_1C)	□このプランを一時停止
タスク1: リモートで管理されている 🛛 🥝 RPS からレプリケート	タスクの種類	 Arcserve Cloud ሊወレプリケート	•
タスク2		アシュアードリカバリ テスト リモートで管理されている RPS へのレプリケ レプリケート	- F
 タスクの追加 		- 仮想入タンハイ	
製品のインストール			

3. 『仮想化サーバ』タブを選択し、『仮想化の種類』のプルダウンメニューから『Hyper-V』を選択し、

Arcserve から送信される『Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス接続情報のお知らせ』という 件名のメールに記載されている情報をもとに、必要情報を入力し『接続』をクリックします。 ※Hyper-V ホスト名には Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール URL の『https://』から 『:8015/』の間の文字列を入力します。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	
ダッシュボード リソース ジョ 	ョブ レポート ログ 設定	
プランの変更	レプリケート (5D_1W_1M_1C)	□このプランを一時停止
タスク1: リモートで管理されている 🛛 🥥 RPS からレプリケート	タスクの種類 仮想スタンバイ	•
タスク2:仮想スタンバイ	ソース 仮想化サーバ	仮想マシン 拡張
● タスクの追加	サイト名 仮想化の種類	ローカル サイト Hyper-V
製品のインストール	Hyper-V ホスト名	
	ユーザ名	clouduser
	パスワード	•••••
	プロトコル	O HTTP I HTTPS
	ポート	8014
	接続	

4. 『仮想マシン』タブを選択し、画面左側にある『参照』をクリックし、別ウィンドウが立ち上がるの で『F:¥VMStorage』をパスとして指定し、『保存』をクリックします。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	● メッセーラ (0) clausheer ・ へルク	-
ダッシュボード リソース ジョ	ゴ レポート ログ 設定		
プランの変更	レプリケート (50_1%(JM)(K) □ 200752/モート時停止	(業存) キャンセル ヘ	NI
タスク1: リモートで管理されている の RPS からレプリケート	タスクの種類	● タスプの利用	1
93/02 (脱基35)/1イ	ソース 仮想(サーバ 仮想マシン) 位 ####2 WM 6/1/2/09/3 USP/M. (BBR/CF-X5r579ar) 5 (F10 CPU M 1 (F10) XFU 5 1240 1 (F10) XFU 5 1240 10 1024 MB		
	WVMmrare PSP-0 3-01-0-2 クジバイ(防害アム)・0-2 クジワの(放送者)・0-2 クジワの(放送者)・0-2 クジワの(放送者)・0-2 クジワの(加速な)・0-2 クジワ		

以上で仮想スタンバイプランの作成は完了となります。 以降は、仮想スタンバイ実行手順を記載させていただきます。

5. 『リソース』タブより、『ノード』→『すべてのノード』から対象のノードを右クリックし、『スタンバイ VM』を選択します。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード リソース ジョン	ブーレポー	-ト ログ	設定				
*	仮想スタ	ンバイ ジョ	ブ すべての.	ノード			
⊿ ノード すべてのノード	アクション	·	「ドの追加				
プランのないノード	V	ステータス	ノード名		VM 名		
 > Hyper-V グループ Linux ノード > ブラン グループ > レinux バックアップ サーバ グループ ▲ 仮想スタンバイ すべてのノード 要アクション スタンバイ VM 実行中 いーフまた中 		0	JPLPTD-1	更新 削除 エクスポート ブランの変更 ハイパーバイザの指定 今すぐレブリケート 仮想スタンバイ	Þ		
ソース実行中 ソースおよび VM 実行中 オブラン すべてのプラン デスティネーション 復日ポイント サーバ Arrearie Profum サード				スタンバイ VM スタンバイ VM ネットワー・ バックアップ パスワードの言 リストア インスタント VM の作成	ク環境設定 役定		

6. 別ウィンドウが立ち上がるので、復旧したいスナップショットを選択し、『VM の電源をオンにす る』をクリックします。

スタンバイ VM - JPLPTD-044	×
スナップショット	
2020/07/21 15:02:11	
ヘルプ 📑 VM のシャットダウン 📑 VM の電源をオンにする	キャンセル

7. VM 電源オン警告が出ますので『はい』を選択することで、仮想マシンの起動が開始されます。

スタンバイ VM - JPLPT	D-044		×
スナップショット 2020/07/21 15:02:11			
	VM 電源オン警告 選択した復日ポイントスナップショット使用して仮想マシンを起動しますか? ✓ カスタマイズされたネットワーク設定を適用します。 はい いいえ		
スタンパイ仮想マシン ネットワークが	設定されました。		
ヘルプ	Bo VII 如何不可能的な。	シビオる キャンセル	

『リソース』タブより、『仮想スタンバイ』→『すべてのノード』から対象のノードを選択することで、右のウィンドウにてステータスの確認ができます。

arcserve	UNIFIED DA	TA PROT	ECTION						() Xy	セージ (0) clouduser	· ^#2 ·
ダッシュボード リソース	ジョブ レポー	F 07	設定								
	· 仮想スタ	ンバイ ジョ	ブ すべてのノード							≫JPLPTD-044	
* /-F	アクション	· [])	一ドの追加				フィルタ ×	(フィルダ適用なし) マ	×	🙂 ステータス	
プランのないノード		ステータス	ノード名	VM &	750	ハイパーパイザ	仮想スタンパイ VM	最新のスナップショット	前回のパックアップも	↓ 最新のジョブ (タスク別)	
 > Hyper-V グループ Linux ノード > プラングループ > Linux Universität # 10 Kin ut 	V	0	JPLPTD-044		レブリケート (31D_1W_1M_1C)		UDPVM_JPLPTD-044	2020/07/21 15:02:11	完了	 レブリケーション(イン) 2020/07/21 155847 仮想スタンバイ 2020/07/21 155817 	現月2日 00:00:00 第月2日: 00:42:52
5 LINE ハックアッフ ラーハ クルーフ 4 仮想2ないにイ										。 仮想スタンバイ ステータス	
すべてのノード 安アウン3ノ つかったくいみ 東浜中										② 仮想スタンバイ ジョブ ○ スタンバイ VM	アクティブ 実行中
メランパイ Vin 実行中 ソース実行中										> 最近のイベント	ログの表示
ソースおよび VM 実行中 オラン すべてのブラン オブスティネーション 第日ポイント サーバ Assessment Partice サード											
■ デスティネーション (第日ボイント サーバ Arcserve Backup サーバ サキコード5											

以上で仮想スタンバイの設定は完了となります。

6.5. Arcserve UDP Cloud Hybrid からのリバースレプリケート

プライマリサイトがダウンし、復旧ポイントサーバ(RPS)上のバックアップデータが破損した場合、Arcserve UDP Cloud Hybrid からバックアップデータをリバースレプリケートすることでデータの復旧が可能となります。



リバースレプリケートを実行するには以下の要件を満たしている必要があります。

・固定のグローバル IP アドレスを持っていること。

・Arcserve UDP Cloud Hybrid 環境から、プライマリサイトの RPS のホスト名を上記固定グロ ーバル IP アドレスで解決できること。

・Arcserve UDP Cloud Hybrid からプライマリサイトの RPS、および Arcserve UDP コンソール に、TCP8014/8015 ポートでアクセスできること。

以降にて、プライマリサイト RPS 破損時の復旧手順をご説明させていただきます。

1. Arcserve UDP コンソールにログインし、『リソース』タブより、『デスティネーション』→『復旧 ポイントサーバ』を選択し、RPS を右クリック、『データストアの追加』を選択します。

arcserve [®] (JNIFIED (DATA PROTECTION				
ダッシュボード リソース ジョコ	ブーレポ	ート ログ 設定	ለብ ፖላጎ	ラビリティ		
	デスティ	ネーション: 復旧ポイントサ・	-//			
⊿ ノード すべてのノード	アクショ	ン・ 復旧ポイントサーバ	の追加			
プランのないノード		名前	ステータス	プラン数	保存をれたデータ	デデュプリケーション
Linux ノード ▷ プラン グループ	4 🗂	ArcserveUDPA	更新			
▶ Linux バックアップ サーバ グループ		ArcserveUDPA data store	削除			71%
すべてのブラン すべてのブラン 「別日ポイントサーバ Arcserve Backup サーバ 共有フォルダ クラウド アがウント リモート コンソール Arcserve クラウド 4 インフラストラクチャ ストレージ アレイ インスタント VM サイト		-	データストア データストア RPS ジャンフ 復日ポイント	の道加 のインボート パスタート サーバ のインスト	ール/アップグレード	

2. 下記 URL を参照し、データストアを作成します。

<u>https://documentation.arcserve.com/Arcserve-</u> <u>UDP/Available/7.0/JPN/Bookshelf_Files/HTML/SolG/UDPSolnGuide/udp_add_ds.htm</u> ここで作成するデータストアはデデュプリケーション、および暗号化を有効にする必要があ るため『暗号化の有効化』にチェックを入れ、『保存』をクリックします。 デデュプリケーションブロックサイズは Arcserve UDP Cloud Hybrid と同じブロックサイズ (東日本リージョンは 16KB, 西日本リージョンは 64KB)を選択します。

, ц 									
	データストアの作成								
	👔 デデュブリケーション、圧縮、暗号	化を有効化または無効化する設定は、デ	-タストアの作成後は変更できません。		*				
	復旧ポイントサーバ	ArcserveUDPA			_				
	データ ストア名				- 1				
	データ ストア フォルダ			参照	- 1				
	同時った。プロービの制限								

-タ ストア名							
ータ ストア フォルダ						参照	
時アクティブ ノードの制限	4						
デデュプリケーションの有効化							
デデュプリケーション ブロック サイス	ズ 16 KB		プリケーション 、	all テープ バックアップ	1 ,₁∥ אַגע		
ハッシュ メモリの割り当て	15393	MB (最大	: 32661 MB, 🕯	 熨小: 1024 MB)			
🗆 ハッシュ デスティネーションは S	SSD (Solid State [Drive) 上にある					
データ デスティネーション						参照	
インデックス デスティネーション						参照	
ハッシュ デスティネーション						参照	
圧縮を有効にする							
圧縮タイプ 暗号化の有効化	◉ 標準	(〕最大				
暗号化パスワード							
暗号化パスワードの確認							
デスティネーションの容量が上限(2	近づくと、電子メー	ル アラートを送信	する				

3. 『リソース』タブより、『プラン』→『すべてのプラン』と選択し、『プランの追加』をクリックしま す。

arcserve	UNIFIED D	ATA PROTECTION						
ダッシュボード リソース ジョ	ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ							
43	プラン: す	「べてのプラン						
⊿ ノード すべてのノード	アクション	/ ↓ プランの追加						
プランのないノード		プラン名		保護	ノード		ステータス	
Linux ノード			合計	٢	0	0		
▶ フラン クルーフ ▶ Linux バックアップ サーバ グループ		<u>Linux Backup</u>	1	1	0	0	🕏 変更: 成功 (1)	
▲ プラン すべてのプラン		<u>Win Backup</u>	1	1	0	0	☞変更: 成功 (1)	
 デスティネーション (復日ポイントサーバ Arcserve Backup サーバ 共有フォルダ クラウドアカウント リモートコンソール Arcserve クラウド インフラストラクチャ ストレージアレイ インスタント VM サイト SLA プロファイル 								

タスクの種類のプルダウンメニューから『リモートで管理されている RPS からのレプリケート』を選択します。

arcserve "UNIFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ							
プランの追加	リバースレプリケ	ーション □ このプランを一時停止					
<u> </u>	タスクの種類	タスク タイプの選択 🗸					
 タスクの追加 		バックアップ: Office 365 Exchange Online バックアップ: Office 365 OneDrive バックアップ: Office 365 SharePoint Online バックアップ: UNC または NFS パス上のファイル バックアップ: エージェントベース Linux バックアップ: エージェントベース Windows バックアップ: ホストベース エージェントレス リモートで管理されている RPS からレプリケート					

 『デスティネーション』タブより、データストアのプルダウンメニューから先程作成したデータ ストアを選択し、必要に応じてスケジュール、および拡張メニューの設定を行い、『保存』を クリックします。
 ※プライマリサイトの Arcserve UDP コンソールと復旧ポイントサーバが異なる IP アドレス を使用している場合は『サーバは NAT ルータの後方にあります』にチェックを入れてください。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	●メッセージ(1) ・ administrator ・ へルノ ・
ダッシュボード リソース ジ	ゴ レポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ	
プランの追加		(保存) キャンセル ヘルク
タスク1:リモートで管理されている RPS からレプリケート	タスクの種類 リモートで管理されている RPS からレクリケート マ	◎ 年文地の前時金
	ソース デスティネーション スケジュール 拡張	
製品のインストール	1回日ボイント サーバ ArcserveUDPA ー	
	データストア test-datastore *	
	サーダ線 NAT ルーダの能力にあります。 🛄 ホストを5位 アドレス	

6. 『設定』タブより、『共有プラン』を選択し、『追加』をクリックします。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
ダッシュボード リソース ジョ:	ブーレポート ログ 設定 ハイアベイラビリティ
 データベース環境設定 Arcserve Backup データ同期スケジュール SRM 環境設定 ノード ディスカバリ設定 電子メールとアラートの環境設定 管理者アカウント リモート展開設定 共有ブラン ユーザ管理 ファクトリリセット 	<u>追加</u> 編集 削除 ▼ 1−サ アカウント データなし

 ユーザアカウントより、Administrator 以外のロール管理者権限をもつユーザをプルダウンより 選択します。『使用可能なプラン』より作成したプランにチェックを入れ、画面中段の矢印マー クを選択します。作成したプランが画面右側の『選択されたプラン』に移行したことを確認し、 『OK』をクリックします。

ユーザへのプランの割り当て		
ユーザ アカウント 🗾 説明		
使用可能なプラン	選択されたプラン	
□ 75>老	75ン名	
■ リバースレプリケーション	□ リバースレプリケーション	
	» >	
	<	
	«	
▲ ▲ ページ 1 /1 ▶ ▶ 🥏 1 - 1/1 の表示		
	ОК	キャンセル

8. Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールにログインし、『リソース』タブより、『すべてのプラン』を選択し、対象のレプリケートプランを右クリックし、『変更』をクリックします。

arcserve	UNIFIED D	ATA PROTECT	ION					
ダッシュボード <mark>リソース</mark> ジョ:	ブーレポー	ト ログ	設定					
	プラン: す	べてのプラン						
▲ ノード すべてのノード	アクション	 ・ ・	の追加					
プランのないノード		プラン名			保護	ノード		ステータス
Linux ノード				合計	0	0	8	
▲ プラン グループ レプリケート(31D_1W_1M_1C)		<u>レプリケート(310</u>	1W 1M 1C)	0	0	0	0	
レプリケート(5D_1W_1M_1C) レプリケート(7D_5W_12M_31C)		<u>レプリケート(5D</u>	1W 1M 1C) 家面	2	2	0	0	🕏 変更: 成功 (2)
▲ プラン		<u>レプリケート(7D</u>	78~		0	0	0	✓作成済み
すべてのプラン			削除					
▲ デスティネーション (割日ポイント サーバ Arcserve Backup サーバ)			今す(*展開 一時停止					
共有フォルダ			今すぐレプリケート					
クラウド アカウント リモート コンソール Arcserve クラウド								
⊿ インフラストラクチャ								
ストレージ アレイ	4							
インスタント VM								
₩1 ₩								
SLA ブロファイル								

9. 『タスクの追加』を選択し。タスクの種類のプルダウンメニューより、『リモートで管理されて いる RPS へのレプリケート』を選択します。

arcserve	UNIFIED DATA	PROTECTION	
ダッシュボード リソース ジョ	ブ レポート	ログ設定	
プランの変更	レプリケート(5D_1	W_1M_1C)	□ このプランを一時停止
タスク1: リモートで管理されている 🛛 🥥 RPS からレプリケート	タスクの種類	タスク タイプの選択 Arcserve Cloud へのレプリケート	-
<u>タスク2</u>		アンユアート リカハリ テスト リモートで管理されている RPS へのレプリケ レプリケート	r~h
● タスクの追加		仮想スタンバイ	
製品のインストール			

10. 『デスティネーション』タブにて、リモートコンソール横の『追加』をクリックし、別ウィンドウが 立ち上がるので、プライマリサイト側の管理コンソール情報を入力し、『OK』をクリックしま す。

『接続』をクリックした後、プランのプルダウンメニューから、先程作成したプランを選択し、 『保存』をクリックします。

シの変更	レプリケート(5D_1W_1M_1O)	□このプランも一時停止		保存 キャンセル ヘ
スク1: リモートで管理されている PSからレプリケート	◎ タスクの種類 リモートで管理さ	SNITUNE RPS へのレプリケート *	Uモートコンソールの追加 ×	 ・ ・ ・
スク2-リモートで管理されている べS へのレプリケート	ソース デスティネー	-ション スケジュール	9E+1.20%4	
	リモート コンジール	- iB70	2-98	
93.7001870	ユーザ名		VC/D=F	
あしんノストール	パスワード		#-5 8015	
	*	8015	プロトンリレ ○ HTTP ● HTTPS □ プロキン サーバを使用して接続する	
	プロトコル プロキシの有効化:	• HITP OHITPS		
	$\pi - \tau$			
	プロキシーサーバの経営部長の際			

以上で、リバースレプリケート設定は完了となります。

設定後、Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールの『リソース』タブより、『ノード』→『すべてのノ ード』からレプリケート対象を右クリックし、『今すぐレプリケート』を選択することで、リバースレ プリケートが実行されます。

7. その他の機能

7.1. Arcserve UDP Cloud Hybrid との VPN 接続

Arcserve UDP Cloud Hybrid への VPN 接続には『サイト対サイト』、『ポイント対サイト』がご利用 いただけます。



サイト対サイト VPN 接続には Arcserve UDP Cloud Hybrid サービス開通後、Arcserve サポート 経由で設定を行う必要があります。

下記 URL リンク先の Arcserve オンラインヘルプからフォームをダウンロードした後、必要情報を 入力し、Arcserve サポートにご提出ください。

【Arcserve UDP Cloud Hybrid オンラインヘルプ】

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-Cloud-

Hybrid/Available/v1.1/JPN/HTML/UG/default.htm#How_to_access_your_DRaaS_instance_using_a_ Site_to_Site_VPN.htm

ポイント対サイト VPN には OpenVPN クライアントのインストールが必要となります。

下記リンクより、OpenVPMN をダウンロードし、インストールします

https://openvpn.net/community-downloads/

※Arcserve UDP Cloud Hybrid 上のハイパーバイザーを Hyper-V マネージャーで管理できる端末 は Windoes10、Windows Server 2016 のみとなります。

OpenVPN インストール後の設定手順に関しては、下記 Arcserve UDP Cloud Hybrid スタートアップガイドをご参照ください。

https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/09/uch-startup-guide1.pdf

7.2. アシュアードリカバリ

Arcserve UDP Cloud Hybrid では、レプリケートされたバックアップデータが破損していないか自動で確認するアシュアードリカバリ機能が利用できます。

アシュアードリカバリ機能には、バックアップデータを仮想ディスクとしてマウントし、中身をチェックする『インスタント仮想ディスク方式』と、インスタント VM を使用し、仮想マシンを立ち上 げて中身をチェックする『インスタント VM 方式』があり、対象の OS によって選択できるものが 変わってきます。また、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上でインスタント VM 方式のアシュアード リカバリを使用するには、別途コンピュートリソースの契約が必要となります。

インスタント仮想ディスク方式



【対象別アシュアードリカバリ対応】

インスタントVM方式



Windows	Microsoft Office 365	Linux
インスタント仮想ディスク方式 インスタント VM 方式	インスタント仮想ディスク方式	インスタントVM方式

1. Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールにログインし、『リソース』タブより、『プラン』→『す べてのプラン』を選択し、対象のプランを右クリック、『変更』をクリックします。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード リソース ジョ	ブ レポー	ト ログ 設定					
	プラン: す	トベてのプラン					
▲ ノード すべてのノード	アクション	/ ▼ プランの追加					
プランのないノード		プラン名		保護	/-⊧		ステータス
Linux ノード			合計	0	0	0	
▲ プラン グループ レプリケート(31D_1W_1M_1C)		レプリケート(81D 1W 1M 1C)	0	0	0	0	♥ 変更
レプリケート(5D_1W_1M_1C) レプリケート(7D_5W_12M_31C)		<u>レプリケート(5D 1W 1M 1C)</u>) (1)	2	0	0	
▷ Hyper-V グループ		<u>レプリケート(7D 5W 12M 31C)</u>	変更コピー		0	0	♥ 作成済み
▲ プラン			削除				
すべしのフラン 4 デスティネージョン			今すぐ展	罰	-		
復日ポイント サーバ			一時停」	_			
Arcserve Backup サーバ			合け合して	ባርተ	-		
共有フォルダ			7210.				
クラウド アカウント							
リモート コンソール							
Arcserve シラット	4						
ストレージ アレイ							
インスタント VM							
サイト							
SLA プロファイル							

2. 『タスクの追加』を選択し。タスクの種類のプルダウンメニューより『アシュアードリカバリテ スト』を選択します。

arcserve" UNIFIED DATA PROTECTION							
ダッシュボード <mark>リソース</mark> ジョブ レポート ログ 設定							
プランの変更	レプリケート(5D_	1W_1M_1C)	□ このプランを一時停止				
タスク1:リモートで管理されている 🛛 📀 RPS からレプリケート	タスクの種類 	タスク タイブの選択 Arcserve Cloud へのレプリケート	-				
タスク2		アンユアニト リカハソ テスト リモートで管理されている RPS へのレプリク レプリケート 仮想スタンバイ	7 - h				
● タスクの追加							
製品のインストール							

 『ソース』タブより、アシュアードリカバリテストの復旧ポイントソースを確認し、アシュアード リカバリ実行のタイミングを設定します。
 ※『最新の復旧ポイント』を選択した場合、バックアップジョブ完了毎にアシュアードリカバ リが実行されます。

arcserve [®] UNIFIED DATA PROTECTION												
ダッシュボード リソース ジョブ レポート ログ 設定												
プランの変更	レプリケート(5D_1W_1M_1C)			□ このプランを一時停止								
タスク1: リモートで管理されている 🛛 📀 RPS からレプリケート	タスクの種類	类 頁	アシュアード リカバリ テスト		•							
タスク2: アシュアード リカバリ テスト		ノース	テスト設定 スケジュール	拡張								
● タスクの追加	アシュア、	ードリカ	リゲリ テストの復日ポイント ソース	タスク1: リモートで管理されている RPS からレプリケート のデステ 💌								
製品のインストール		917 😩	説明 日次バックアップ			B	月	火	ж	木	金	±
		٢	週次バックアップ									
		ت 1	月次パックアップ 最新の復日ポイント									

 『テスト設定』タブより、テストタイプを選択します。対応するテストタイプに関しては【対象 <u>別アシュアードリカバリ対応】</u>をご参照ください。

必要情報を入力の後、任意でスケジュール、拡張設定を完了したら【保存】をクリックしま す。

arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	♥ 新しい更新を利用でさます。□	Ø メオセージ (1) ・ clouduser ・ へルプ ・
ダッシュボード リソース ジョ	ブ レポート ログ 設定		
プランの変更	レクリケート(50,1%,1%,16) □ このプランキー時得止		保存のキャンセル ヘルク
タスウ1: リモートで管理されている の RPS からレブリケート	タスクの種類 アジュアードリカ10/ ラスト *		③ タスカの制脉
タスカロ: アシュアード リカパリ テスト	ソース テスト設定 スケジュール 拡張		
 タスカの追加 製品の-インストール 	サイト名 ローカル サイト サスト タイプ 〇 〇 イレスタント VM ウ ノレスタント VM 〇 ピノレスタント 税増ディスク		
	Windows プロキンサーバ 0 道加 クガア 歴史)〜ド ディルファイ ● プロキンサーバ 0 上 ト フォルダ クガア		

以上でアシュアードリカバリ設定は完了となります。

7.3. Microsoft Office 365 のパックアップ

Arcserve UDP Cloud Hybrid では下記リンク先の Arcserve UDP と同様の手順にて Microsoft Office 365 のバックアップ先として利用することができます。

https://documentation.arcserve.com/Arcserve-Cloud-Hybrid/Available/v1.1/JPN/HTML/UG/default.htm#Off_365.htm Arcserve UDP Cloud Hybrid は簡単な手順でオンプレミス環境の Arcserve UDP に保存され たバックアップデータのレプリケートを実行することができます。

コンソール画面も、Arcserve UDP の作りに非常に似た作りとなっており、既存ユーザーには 慣れ親しんだコンソール画面にてオペレーションが可能となります。

クラウドサービスですので、Arcserve UDP Cloud Hybrid のインフラ運用はメーカー対応となることから、DR環境構築による運用負荷の増大も発生しません。

Arcserve UDP をご利用されている方とって、非常に簡単に DR 環境を構築できるサービスであると言えます。